



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東  
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 三浦 康英  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 田中 光晴 (TEL) 03-3471-0011  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,187	△6.8	218	△32.7	158	△37.1	37	△22.5
28年3月期第2四半期	7,711	△10.5	324	34.3	252	70.0	48	△18.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 68百万円( -%) 28年3月期第2四半期 △58百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	6.45	—
28年3月期第2四半期	8.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	19,316	6,793	34.7	1,200.02
28年3月期	20,269	7,047	34.3	1,157.51

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,699百万円 28年3月期 6,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,730	△5.9	600	△22.0	450	△28.3	250	△18.2	41.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 1社(社名) 蘇州新南包装制品有限公司

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	6,006,373株	28年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	423,952株	28年3月期	3,910株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	5,882,439株	28年3月期2Q	6,002,473株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、雇用・所得環境に改善がみられたものの、個人消費及び設備投資の低迷により景気回復は緩やかなものとなりました。世界経済は、中国及び新興国の成長鈍化及び地政学リスクの高まりを受け、力強さに欠ける状況が続きました。

物流業界におきましては、国内貨物は個人消費及び設備投資の低迷により消費関連貨物及び建設関連貨物を中心に減少いたしました。国際貨物はアジア及び北米向けの輸出入貨物を中心に低調な荷動きとなりました。

このような事業環境の中、当社は半導体製造装置及び前期より開始した通販貨物の取扱額が増加いたしました。顧客の事業構造改革による無線通信機器の取扱額減少を受け売上高は減少いたしました。利益面におきましては、売上高減少の影響及び一般管理費の増加により、営業利益は減少いたしました。

国内連結子会社におきましては、主要顧客の製品取扱額の減少に加え、その他顧客において前期に発生した特需の反動により、売上高、営業利益ともに減少いたしました。

中国連結子会社におきましては、前期5月に華南地区の子会社2社を譲渡した影響により、売上高は減少いたしました。赤字体質からの改善が進み、事業の収益力は向上いたしました。

米国連結子会社におきましては、工作機械のスチール梱包業務が軌道に乗り始めたことで、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高71億87百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益2億18百万円(前年同期比32.7%減)、経常利益1億58百万円(前年同期比37.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益37百万円(前年同期比22.5%減)となりました。

なお、当期5月に公表いたしました中国華東地区の子会社の出資持分一部譲渡により、関係会社株式売却損90百万円を特別損失として計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 梱包事業部門

前期5月に不採算拠点であった中国華南地区の子会社2社を譲渡した影響により、売上高は減少いたしました。セグメント利益は増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高51億28百万円(前年同期比5.3%減)、セグメント利益4億53百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

## ② 運輸事業部門

無線通信機器の取扱額が減少した結果、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高10億37百万円(前年同期比13.6%減)、セグメント利益25百万円(前年同期比39.3%減)となりました。

## ③ 倉庫事業部門

工作機械保管額の減少及び当期4月の事業所閉鎖の影響により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高9億3百万円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益1億76百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

## ④ 賃貸ビル事業部門

フリーレント期間の設定及び修繕費用等の発生により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億18百万円(前年同期比19.5%減)、セグメント利益21百万円(前年同期比64.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産193億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円の減少となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、51億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億27百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少4億33百万円、受取手形及び売掛金の減少2億39百万円によるものであります。

固定資産につきましては、142億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億25百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少94百万円、リース資産の減少1億17百万円によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、125億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億99百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、38億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億60百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少2億6百万円、未払法人税等の減少1億60百万円によるものであります。

固定負債につきましては、87億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少2億22百万円、リース債務の減少1億23百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、67億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億53百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少76百万円、自己株式の取得による減少2億5百万円、為替換算調整勘定の増加34百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の34.3%から34.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異につきましては、本日(平成28年10月31日)公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、蘇州新南包装制品有限公司は、出資持分の一部を譲渡したため連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,551千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,384,847	1,951,107
受取手形及び売掛金	3,003,246	2,764,089
商品及び製品	11,262	—
原材料及び貯蔵品	124,943	106,477
繰延税金資産	121,967	106,562
その他	189,891	180,200
貸倒引当金	△5,900	△5,600
流動資産合計	5,830,259	5,102,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,915,629	7,821,234
機械装置及び運搬具(純額)	102,210	95,218
土地	2,303,455	2,303,455
リース資産(純額)	2,244,409	2,126,686
その他(純額)	30,840	34,233
有形固定資産合計	12,596,544	12,380,826
無形固定資産		
ソフトウェア	128,990	121,853
その他	5,639	5,584
無形固定資産合計	134,629	127,438
投資その他の資産		
投資有価証券	380,686	370,091
破産更生債権等	20,323	8,367
繰延税金資産	690,824	693,841
その他	633,129	637,756
貸倒引当金	△16,490	△4,659
投資その他の資産合計	1,708,472	1,705,397
固定資産合計	14,439,647	14,213,662
資産合計	20,269,907	19,316,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	725,534	519,528
短期借入金	1,715,768	1,875,520
1年内償還予定の社債	107,000	45,000
リース債務	246,645	245,788
未払法人税等	208,157	47,514
賞与引当金	300,054	280,440
その他	864,124	792,911
流動負債合計	4,167,285	3,806,702
固定負債		
長期借入金	5,320,753	5,098,517
リース債務	2,106,415	1,983,215
退職給付に係る負債	804,016	822,752
資産除去債務	406,183	410,565
長期預り金	213,309	206,634
金利スワップ	204,740	194,454
固定負債合計	9,055,418	8,716,140
負債合計	13,222,703	12,522,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,154,022	2,077,458
自己株式	△3,200	△208,601
株主資本合計	7,115,816	6,833,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,369	92,820
繰延ヘッジ損益	△142,048	△134,912
為替換算調整勘定	△51,478	△17,320
退職給付に係る調整累計額	△80,774	△75,433
その他の包括利益累計額合計	△167,932	△134,845
非支配株主持分	99,319	94,650
純資産合計	7,047,203	6,793,657
負債純資産合計	20,269,907	19,316,500

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,711,639	7,187,214
売上原価	6,238,712	5,827,328
売上総利益	1,472,926	1,359,886
販売費及び一般管理費		
販売費	563,050	541,620
一般管理費	585,769	600,216
販売費及び一般管理費合計	1,148,819	1,141,836
営業利益	324,107	218,049
営業外収益		
受取利息	1,169	358
受取配当金	6,018	6,553
受取保険金	4,586	5,067
その他	1,892	4,995
営業外収益合計	13,666	16,974
営業外費用		
支払利息	84,960	76,273
その他	411	—
営業外費用合計	85,372	76,273
経常利益	252,401	158,751
特別利益		
固定資産売却益	903	105
特別利益合計	903	105
特別損失		
関係会社株式売却損	28,507	90,971
固定資産売却損	—	3,155
投資有価証券売却損	—	75
特別損失合計	28,507	94,201
税金等調整前四半期純利益	224,797	64,655
法人税、住民税及び事業税	132,000	17,300
法人税等調整額	42,176	9,498
法人税等合計	174,176	26,798
四半期純利益	50,621	37,856
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,661	△84
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,959	37,941

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	50,621	37,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,590	△15,582
繰延ヘッジ損益	△11	7,136
為替換算調整勘定	△79,859	34,157
退職給付に係る調整額	2,709	5,341
その他の包括利益合計	△108,752	31,053
四半期包括利益	△58,130	68,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,684	71,028
非支配株主に係る四半期包括利益	2,553	△2,118

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式420,000株の取得を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が2億5百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2億8百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,413,897	1,200,587	950,557	146,597	7,711,639	7,711,639
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,810	1,533	3	—	5,346	5,346
計	5,417,707	1,202,120	950,560	146,597	7,716,985	7,716,985
セグメント利益	425,513	42,815	192,341	61,665	722,335	722,335

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	722,335
セグメント間取引消去	401
全社費用(注)	△398,629
四半期連結損益計算書の営業利益	324,107

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,128,166	1,037,573	903,406	118,068	7,187,214	7,187,214
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,270	—	—	2,270	2,270
計	5,128,166	1,039,843	903,406	118,068	7,189,485	7,189,485
セグメント利益	453,924	25,975	176,104	21,766	677,771	677,771

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	677,771
セグメント間取引消去	381
全社費用(注)	△460,103
四半期連結損益計算書の営業利益	218,049

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。